

本紙寄稿「山形」



画文集「山形スケッチ歳時記」
堀美保子さん

ラーメン愛を取り戻せ 手形キーホルダー作製

大風印刷 山形5店協力、ガチャ販売

特典もあるよ

山形市は近年、ラーメンの消費ランキングで全国トップ(3カ年平均)に君臨しているが、2021年単年だと2位だった。危機感を持った大風印刷(同市、



大風亨社長)は、今後も長く1位の座を守るために市内の店を応援しようとして、利用客が対象店舗で10月31日まで何度でも特典を受けられる「ラーメン手形キーホルダー」を作った。カプセルに入れて「ガチャポン」で販売し、愛好家が早速ハンドルを回している。

総務省の家計調査によると、同市の中世(外食)の年間支出金額は21年まで

- ①山形市内五つのラーメン店のキーホルダー
- ②ラーメンキーホルダーを購入できるガチャポン(山形市・めん工房さかい)

9回連続1位。ただ、同年単年では新潟市に300円の差で抜かれた。同社は「山形には来客を出前でもてなす文化があるが、新型コロナウイルス禍でそれができなかつたからでは」と分析。幅広い業種と連携した商品開発を手掛ける同社は、観光客も含め多くの人が店を知る機会をつくろうと、ラーメン店と手を携えたガチャポンを企画した。

キーホルダーは金長本店、有頂天EVOLUTIOON荒楯本店、栄屋本店、自家製鶏冠、極中華蕎麦ひろたの計5店分。各店がお薦めする一杯を印刷し、直径5センチのキーホルダー「メン愛好家」を作った。裏面には大盛り無料といった各店オリジナルの特典を記載。シークレットも用意した。

ガチャポンは、同市山寺のえんどう本店と同市緑町のめん工房さかいに設置。1個500円。5店分を集め、えんどうかさかいに持参すると両店独自の特典もある。大風印刷の担当者は「ラーメン店も市民もみんなが笑顔になれるように盛り上げたい」と話している。(瀬野麻衣)

山菜新鮮 どっと混む

上山ふるさと直売所営業スタート



朝採りの山菜を販売する上山市狸森のふるさと直売所の今季営業が9日、スタートした。訪れた人たちが早速、新鮮なワラビなどを次々と買い求めた。

地元山の幸を地域振興につなげようと、地区住民らが毎年、山元林業協同組合の建物に店舗を設けている。初日のこの日は人気のワラビのほか山ウド、ユギミ、アイコなど旬の山菜がずらり。午前9時半の開店時には約30人が列をつくり、約100束あったワラビは25分ほどで完売した。山形市中桜田2丁目の無職志鎌啓さん(86)は「山形市から近いし、旬のワラビを食べたいと思って来た。おひたしや一本漬けにして

山形 広域



本社編集局 023(6)2215305
天童支社 023(6)532260
上山支社 023(6)725881

地域の情報をお寄せください

味わいた 売所の太 「これだ もらえる 新鮮な山 をたくさ ほしい」 6月上 市芸術 22年度 山形市 谷仲夫会 市民会館 術祭や市 催、街な 展示する の拡充な 022年 承した。 市芸術 日(来年 業では、